

済生会長崎病院 2025プラン

地域医療構想の実現に向けて

平成29年 12月 策定
(平成30年3月一部修正)

【済生会長崎病院の基本情報】

医療機関名：社会福祉法人^思_{財団}済生会支部 済生会長崎病院

開設主体：社会福祉法人^思_{財団}済生会

所在地：長崎市片淵2丁目5-1

許可病床数：205床

（病床の種別）一般病床

（病床機能別）HCU：12床、7対1病床：152床、地域包括ケア病床：41床

稼働病床数：205床

（病床の種別）一般病床

（病床機能別）HCU：12床、7対1病床：152床、地域包括ケア病床：41床

施設認定：地域医療支援病院、災害拠点病院、臨床研修指定病院等

診療科目（標榜診療科）

内科、脳神経外科、外科、整形外科、小児科、泌尿器科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、放射線診断科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、麻酔科、消化器外科、糖尿病内科、代謝内科、内分泌内科、腎臓内科、人工透析内科、乳腺外科、大腸外科、皮膚科、救急科、病理診断科（以上、25診療科）

職員数：（平成29年7月1日現在）488名（※休職者は含まず）

- ・ 医師
総数52名（常勤：48名※内研修医8名、非常勤24名）
- ・ 看護職員
看護師総数205名（常勤：203名、非常勤2名）
看護助手 27名
- ・ 専門職
薬剤師11名、臨床検査技師：19名、診療放射線技師：12名、PT：23名
OT：6名、ST：2名、臨床工学技士5名、管理栄養士5名、MSW：4名
- ・ 事務職員
一般事務：36名
医事課：24名
医師事務作業補助者：15名
各部署クラーク：9名
各部署助手：6名（看護助手を除く）
労務員他：7名（院内託児所保育士を含む）

【1. 現状と課題】

① 構想区域の現状

1. 長崎区域における機能別必要病床数について

長崎県地域医療構想による機能別病床数（将来予測）は以下の通りである。

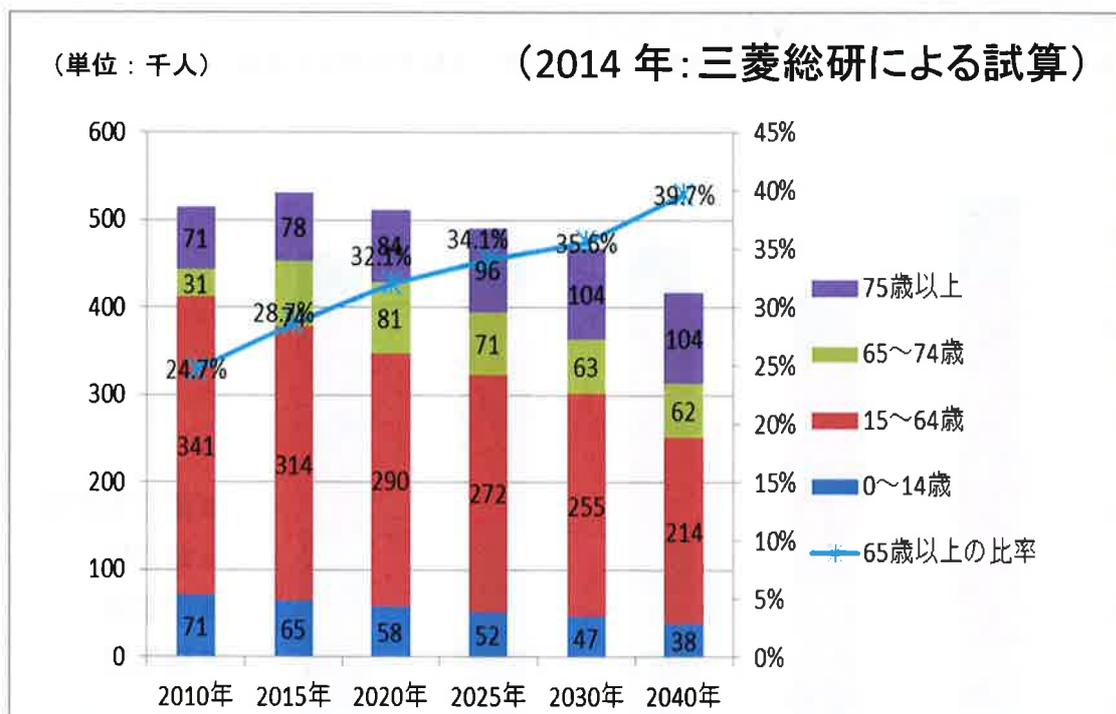


1. 限られた医療資源や財源を効率的、効果的に活用するために、医療の「機能分化」と「連携」を推進することが必要。
2. 近隣の複数の医療機関において重複して提供されている機能があれば、これを可能な限り集約し、医師や看護師等の負担をできるだけ抑える体制を構築することで、高度な医療の継続的な提供が期待できる。

(長崎県地域医療構想より一部抜粋)

2. 長崎区域の人口動態予測について

民間シンクタンクによる当区域の人口動態予測は以下の通りである。



○当区域において、65歳以上の高齢者人口は、将来に渡り16万人程度で推移する。

○内、75歳以上の後期高齢者が約10万人、65歳～74歳の高齢者が約6万人程である。

○2025年時点に予想される高齢化率は34%を超える見込みである。

3. 長崎区域の将来における医療需要について

○高齢者の人口動態に大きな変化が認められないことから需要はほぼ横ばいと推察される。

○就労者人口の減少予測から15歳～64歳の医療需要は段階的に減少に向かうと推察される。

4. 四機能ごとの医療提供体制の特徴

○高度急性期病床が約250床過剰。

○急性期病床が約1,400床過剰。

○回復期病床が約1,400床不足。

○慢性期病床においては約740床が過剰

② 構想区域の課題

1. 当医療圏における課題は次の通り

- 急性期病院が長崎市中心部に集中しており、半島地域に不足している。
- 急性期病床を持つ病院において同様の診療科が点在しており色分けが出来ていない。
- 急性期病院と回復期病院との連携不足（現状：病院完結型が主流）。
- 高度急性期病床の一部（約250床）を他の病床機能へ転換（又は減床）する必要がある。
- 急性期病床から回復期病床への機能転換が必要（約1,400床）。
- 慢性期病床は一部（約740床）を介護医療院への転換又は在宅療養への患者移行が必要。

※急性期から回復期への思い切った機能転換を図るにあたり、最大の不安要素である入院患者の確保において、入口機能である急性期分野（他の急性期病院）からどの程度の紹介入院が見込めるかという点（事業継続が可能かどうかという点）を解決しないことには、地域医療構想の実現は難しいのではないか。

解決策があるとすれば、ひとつは、急性期病院と回復期病院の真の連携であり、もうひとつは、診療報酬改定等政策誘導の結果による収斂（自然淘汰）ではないかと思われる。

③ 自施設の現状

1. 医療財団済生会の目指すところ

当会の使命は、次に掲げる三つである

- 生活困窮者支援の積極的推進
- 地域医療への貢献
- 医療と福祉に関する総合的な切れ目のないサービスの提供

2. 診療実績からみた当院の特徴

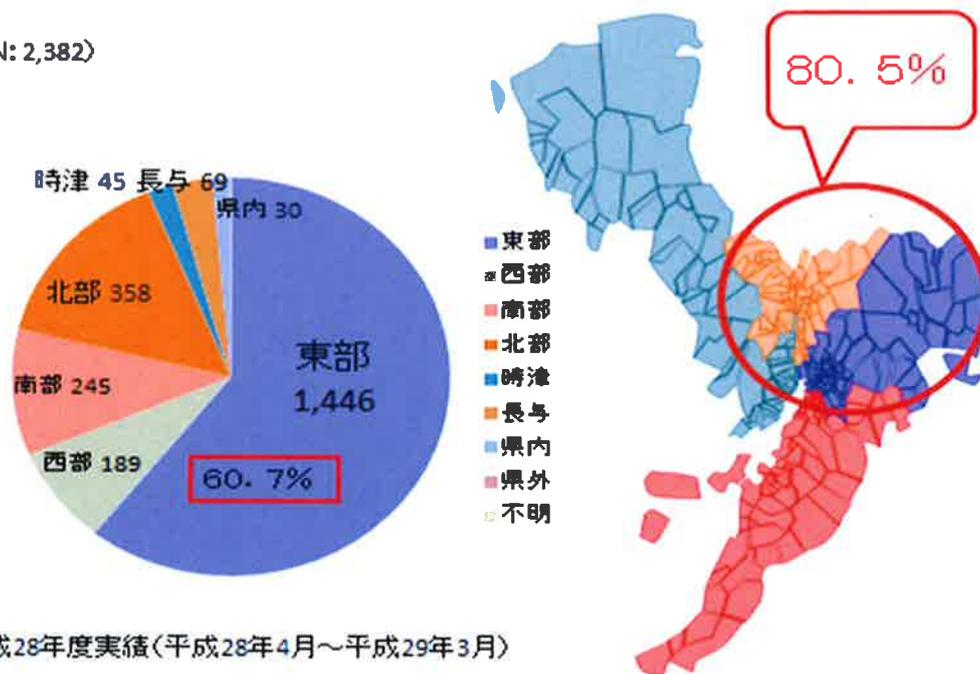
○救急分野（救急車応需件数とエリア別実績）



〈出典：平成28年度病床機能報告〉

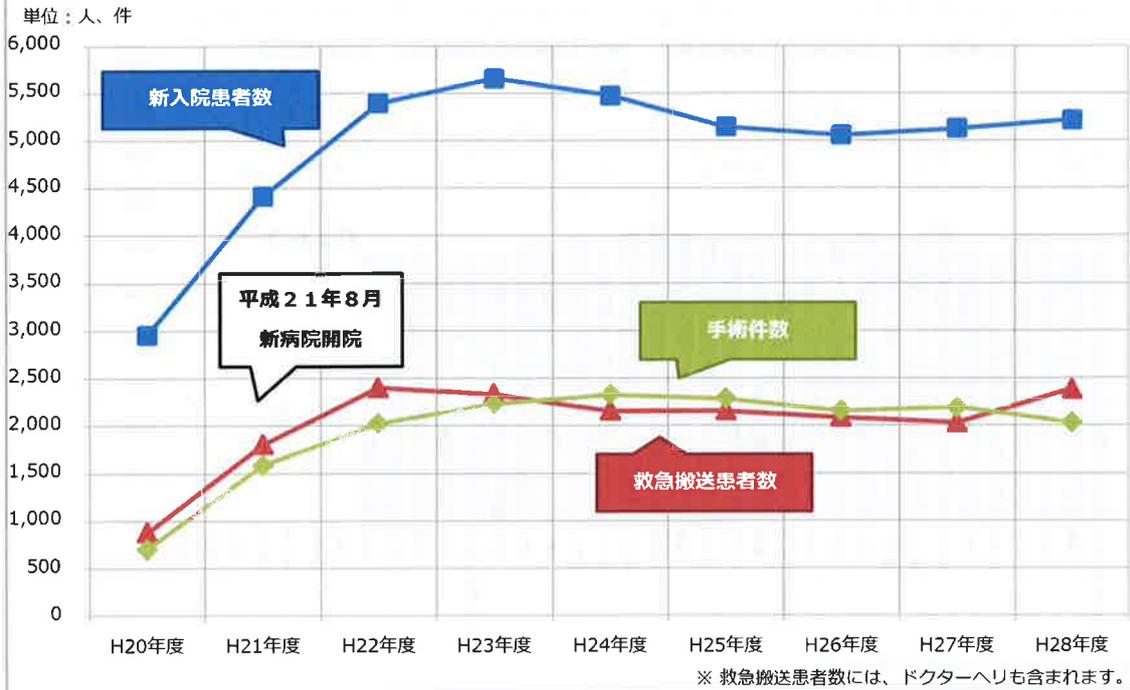
7

(N: 2,382)

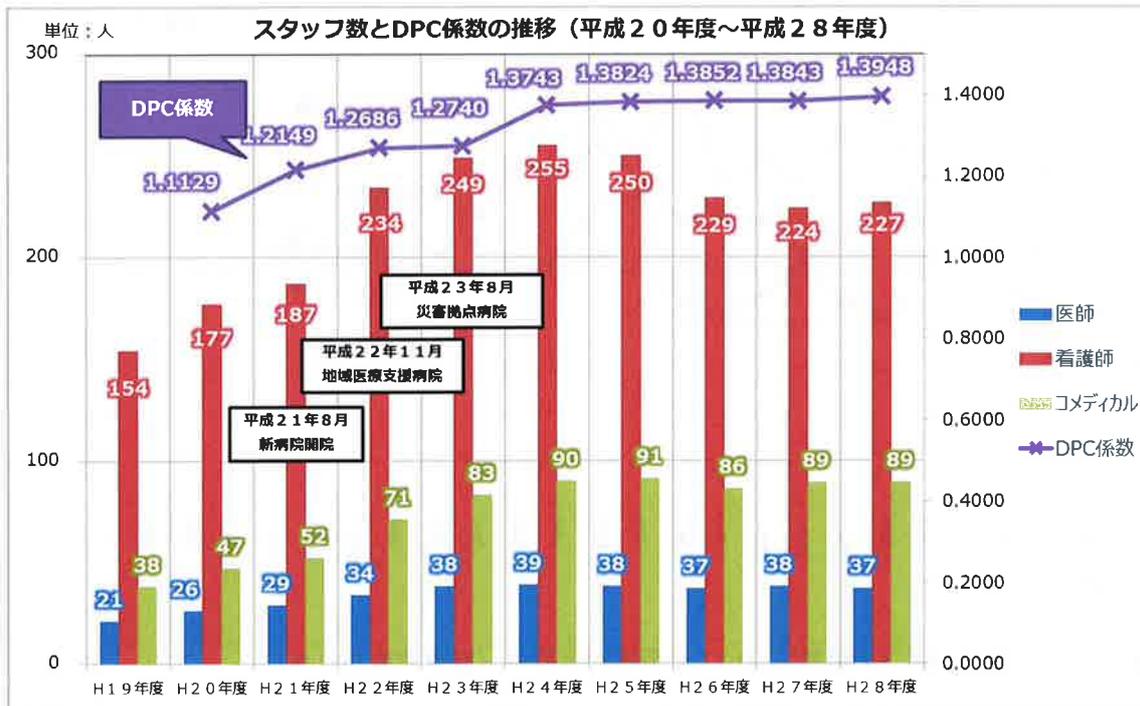


平成28年度実績(平成28年4月～平成29年3月)

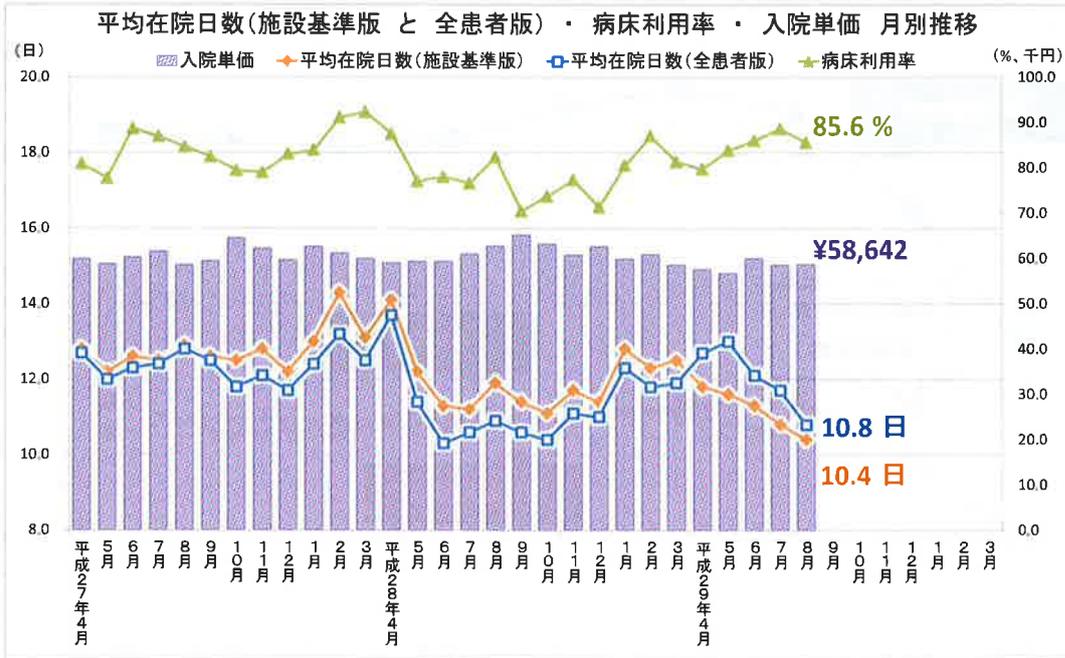
新入院患者・救急搬送患者・手術件数の推移（平成20年度～平成28年度）



○年次別スタッフ数の推移と病院機能評価係数の推移



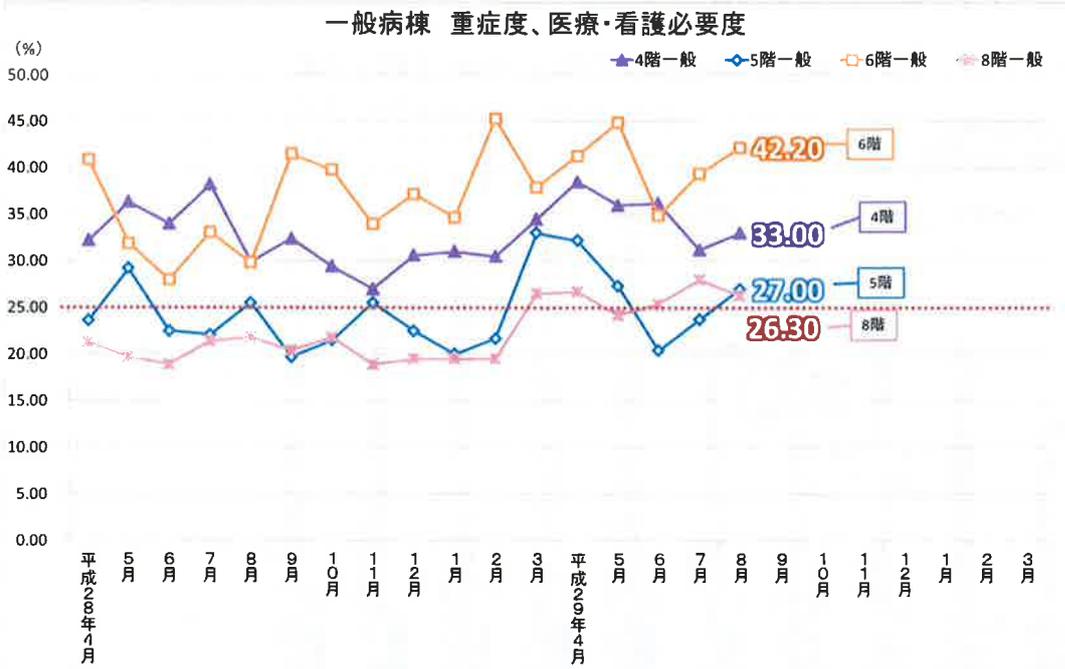
○平均在院日数・病床利用率・入院単価の推移（平成27年4月以降の推移）



★平成29年4月に病棟再編実施

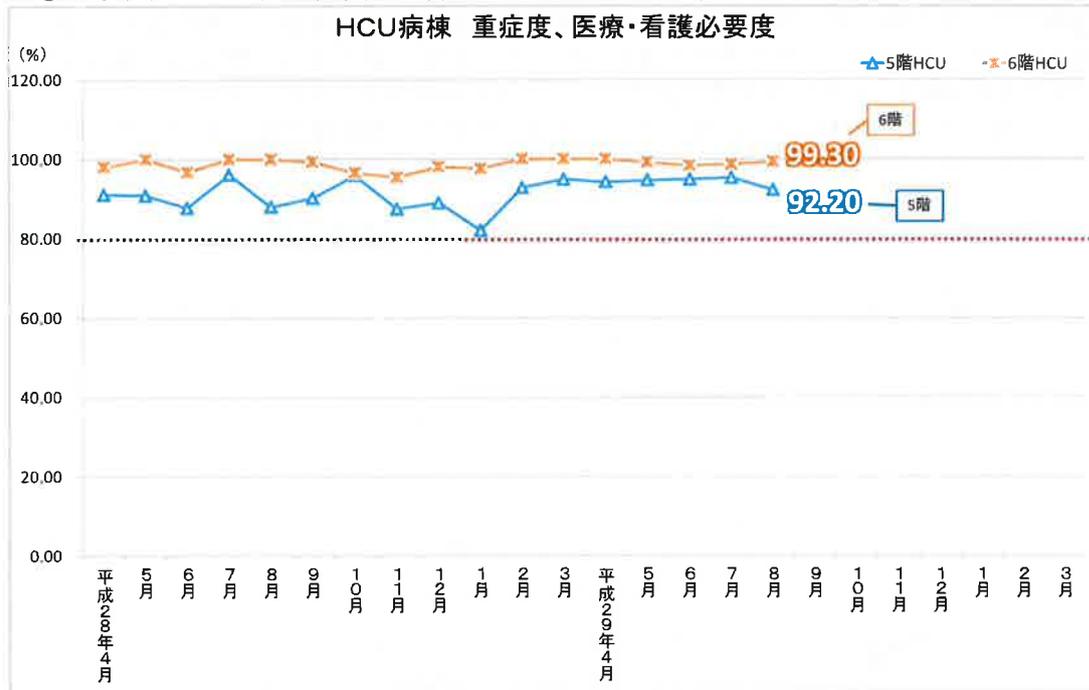
- 7:1病床を5病棟⇒4病棟へ削減（診療密度の濃い7:1病床へ変化）
- 地域包括ケア病床を1病棟導入、平均入院期間は、15日前後（急性期型）で推移

○7:1病棟（4病棟）における重症度、医療・看護必要度（平成28年4月以降の推移）



- 平成29年4月以降7:1全病棟において必要度が上昇中（診療密度がUP）

○ハイケア・ユニット(2単位12床)の重症度、医療・看護必要度(平成28年以降の推移)



●常時90% (施設基準 : 80%) をクリア

<現在の当院の立ち位置>

当院は、平成21年8月の新病院開業に伴い、急性期を中心とした医療提供体制に大きくシフトし今日に至っている。前段の各実績値が示す通り、コンセプトを忠実に履行した結果として、長崎大学より多くの医師派遣を受け、かつコ・メディカル職員の採用拡大により看護師を始めとしたオールスタッフが24時間常駐する急性期病院となった。特に救急搬送患者の受入を急激に伸長させ、平成22年度には厚生労働大臣より「救急医療功労賞」を西日本地区で唯一授賞するに至った。

より緊急性の高い急性期医療の提供により地域に貢献するという基本的な姿勢は、現在においても継承されており、HCUの設置を始め、特に外傷に強い整形外科、24時間t-paや脳血管内治療を行う脳神経外科、急性心筋梗塞にも対応する循環器内科等長崎医療圏における輪番病院の中核的存在として認知されている。



注) “救急医療功労賞” の受賞により授与されたメダル

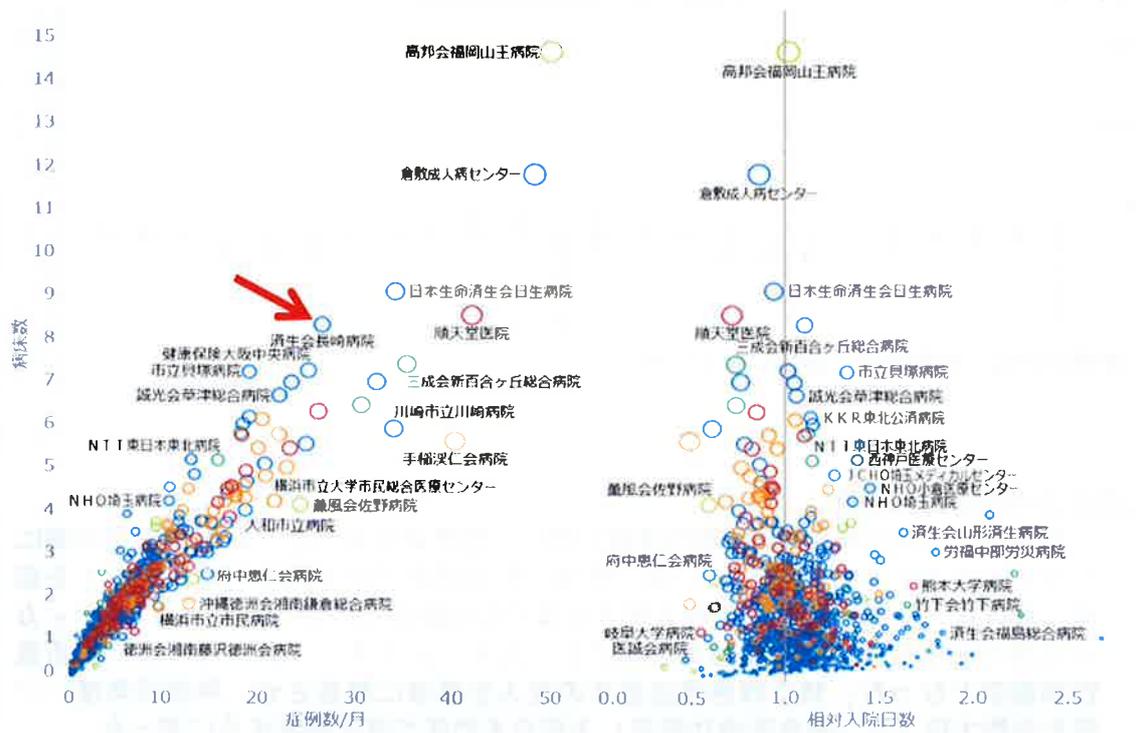
○高度専門医療の提供

当院では、現在25の診療科を標榜し、その全ての領域において高度かつ専門的な医療の提供を行っている。高度専門医療の代表例のひとつに産婦人科があり、特に婦人科領域においては下図のDPCデータが示す通り国内トップクラスの診療実績を残している。

これらのことは、地域医療への貢献はもとより、研修医・修練医等の次世代を担う若手医師にも多くの研鑽の機会を提供していること(医療人の育成)にも繋がっている。

高度専門医療の提供 = 『地域医療への貢献』 + 『医療人の育成』

▼ < 患者数(がん) 患者数(脳血管・心疾患) 周産期 傷病から始める 一占有率 一地図 一施設 一グラフ 病院の概要 病院の占有率 病院の地図 >>>
 偏病別の入院治療施設(H26/2014) DPC6title 120060子宮の良性腫瘍 kishikaw@ncc.go.jp



(出典：石川ベンジャミン氏ホームページ)

以下に、診療実績として、当院から半径10キロ圏内における主な疾患 (DPCコード6桁) 別シェアを図示する。(出典：メディアローズ)

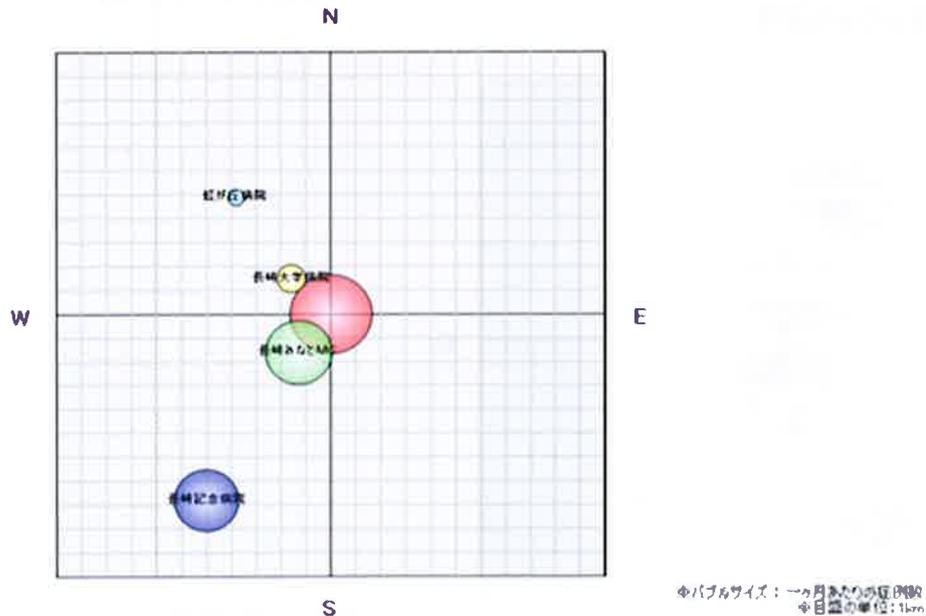
- ・ インフルエンザ、ウイルス性肺炎(040070)
- ・ 肺炎等(040080)
- ・ 食道、胃、十二指腸他腸の炎症(060130)
- ・ 前庭機能障害(030400)
- ・ 敗血症(180010)
- ・ 心不全(050130)
- ・ ヘルニアの記載のない腸閉塞(060210)
- ・ 脳梗塞(010060)
- ・ 股関節大腿骨近位骨折(160800)
- ・ 胸椎・腰椎以下骨折損傷(160690)
- ・ 四肢筋腱損傷(160610)
- ・ 肩関節周辺の骨折脱臼((160720)
- ・ 骨盤損傷(160980)
- ・ 子宮の良性腫瘍(120060)
- ・ 卵巣の良性腫瘍(120070)

インフルエンザ、ウイルス性肺炎(DPC6桁:040070)
 ※平成27年9月単月実績

| 施設名 | 距離 | 月平均 症例数 |
|--|-------|------------|
| 自病院 | 0.0km | 39 |
| 地方独立行政法人長崎市長病院機構 長崎みなとメディカルセンター市民病院 | 2.1km | 32 |
| 長崎記念病院 | 9.2km | 3.1 |
| 長崎大学病院 | 2.2km | 1.4 |
| 医療法人厚生会 虹が丘病院 | 6.2km | 0.8 |

(データ元:平成27年度DPC導入の影響評価に関する調査)

インフルエンザ、ウイルス性肺炎(DPC6桁:040070)
 ※平成27年9月単月実績

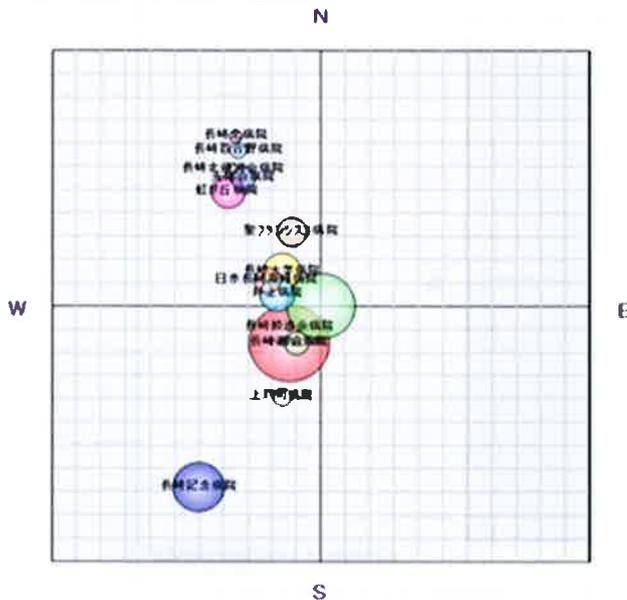


肺炎等(DPC6桁:040080)
 ※平成27年9月単月実績

| 施設名 | 距離 | 月平均 症例数 |
|------------------------------------|-------|------------|
| 地方独立行政法人長崎市立病院機構長崎みなとメディカルセンター市民病院 | 2.1km | 285 |
| 自病院 | 0.0km | 24.7 |
| 長崎記念病院 | 9.2km | 18.3 |
| 長崎大学病院 | 2.2km | 13.3 |
| 特別医療法人春回会井上病院 | 1.9km | 12.8 |
| 医療法人厚生会 虹が丘病院 | 6.2km | 12.2 |
| 聖フランシスコ病院 | 3.4km | 11.1 |
| 日本赤十字社長崎原爆病院 | 2.5km | 9.9 |
| 社会福祉法人 十善会病院 | 1.9km | 8.9 |
| 医療法人 光晴会病院 | 6.3km | 8.9 |
| 社会医療法人 健友会上戸町病院 | 4.2km | 7.0 |
| 医療法人光善会 長崎百合野病院 | 7.5km | 6.0 |
| 社会医療法人 春回会 長崎北病院 | 8.1km | 4.6 |
| 医療法人徳洲会 長崎北徳洲会病院 | 6.9km | 4.0 |
| 長崎掖済会病院 | 1.6km | 3.1 |

(データ元:平成27年度DPC導入の影響評価に関する調査)

肺炎等(DPC6桁:040080)
 ※平成27年9月単月実績

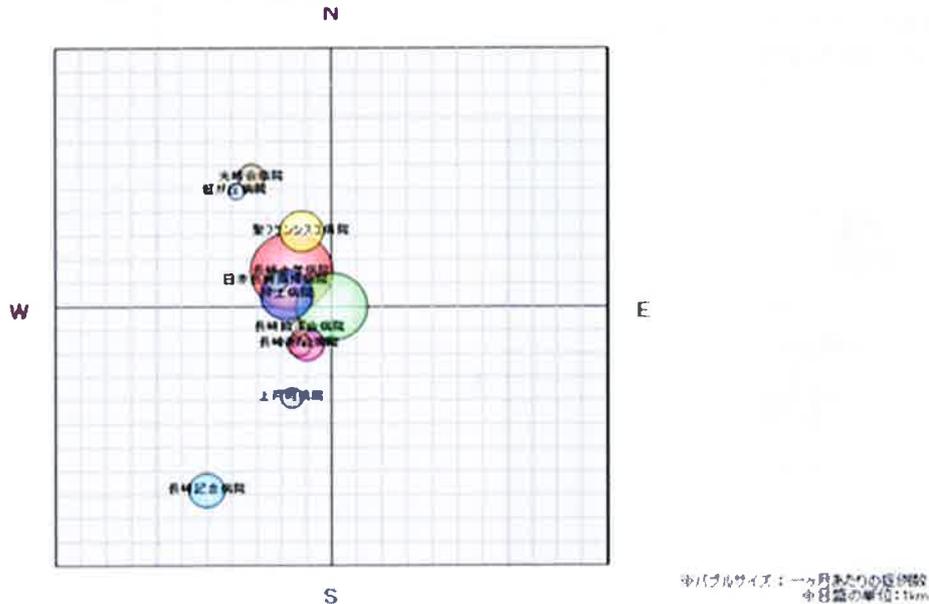


食道、胃、十二指腸他腸の炎症(DPC6桁:060130)
 ※平成27年9月単月実績

| 施設名 | 距離 | 月平均 症例数 |
|--|-------|------------|
| 長崎大学病院 | 2.2km | 5.9 |
| 自病院 | 0.0km | 5.2 |
| 特別医療法人春回会井上病院 | 1.9km | 3.8 |
| 聖フランシスコ病院 | 3.4km | 3.1 |
| 長崎記念病院 | 9.2km | 2.6 |
| 社会福祉法人 十善会病院 | 1.9km | 2.5 |
| 医療法人 光晴会病院 | 6.3km | 2.0 |
| 地方独立行政法人長崎市長崎市民病院 崎みなとメディカルセンター市民病院 | 2.1km | 1.8 |
| 日本赤十字社長崎原爆病院 | 2.5km | 1.6 |
| 社会医療法人健友会上戸町病院 | 4.2km | 1.6 |
| 長崎掖済会病院 | 1.6km | 1.3 |
| 医療法人厚生会 虹が丘病院 | 6.2km | 1.2 |

(データ元:平成27年度DPC導入の影響評価に関する調査)

食道、胃、十二指腸他腸の炎症(DPC6桁:060130)
 ※平成27年9月単月実績

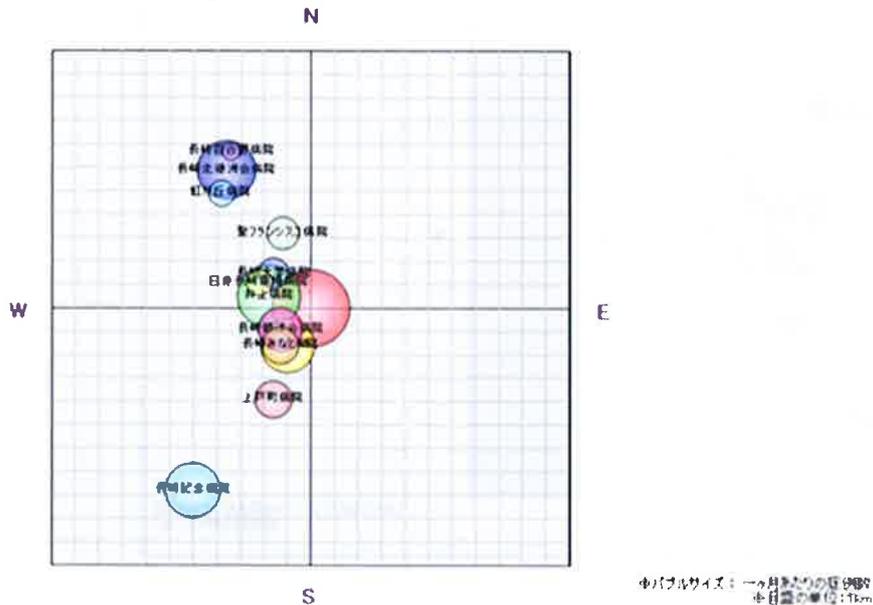


前庭機能障害(DPC6桁:030400)
 ※平成27年9月単月実績

| 施設名 | 距離 | 月平均 症例数 |
|------------------------------------|-------|------------|
| 自病院 | 0.0km | 3.3 |
| 特別医療法人春回会井上病院 | 1.9km | 2.7 |
| 医療法人徳洲会 長崎北徳洲会病院 | 6.9km | 2.5 |
| 社会福祉法人 十善会病院 | 1.9km | 2.3 |
| 長崎記念病院 | 9.2km | 2.3 |
| 長崎掖済会病院 | 1.6km | 1.9 |
| 地方独立行政法人長崎市立病院機構長崎みなとメディカルセンター市民病院 | 2.1km | 1.6 |
| 社会医療法人健友会上戸町病院 | 4.2km | 1.6 |
| 聖フランシスコ病院 | 3.4km | 1.4 |
| 長崎大学病院 | 2.2km | 1.3 |
| 日本赤十字社長崎原爆病院 | 2.5km | 1.1 |
| 医療法人厚生会 虹が丘病院 | 6.2km | 1.1 |
| 医療法人光善会 長崎百合野病院 | 7.5km | 0.8 |

(データ元:平成27年度DPC導入の影響評価に関する調査)

前庭機能障害(DPC6桁:030400)
 ※平成27年9月単月実績

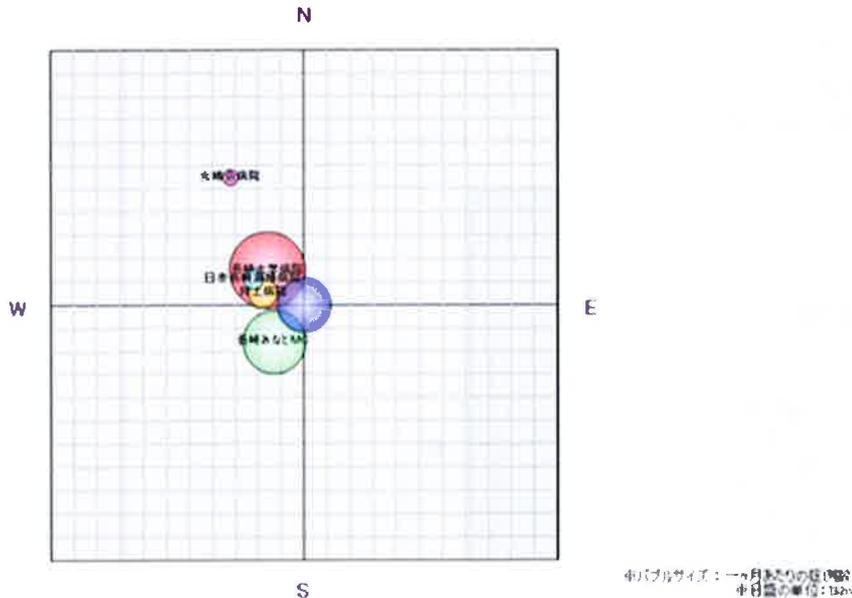


敗血症(DPC6桁:180010)
 ※平成27年9月単月実績

| 施設名 | 距離 | 月平均 症例数 |
|------------------------------------|-------|------------|
| 長崎大学病院 | 22km | 60 |
| 地方独立行政法人長崎市立病院機構長崎みなとメディカルセンター市民病院 | 21km | 50 |
| 自病院 | 0.0km | 43 |
| 特別医療法人春回会井上病院 | 19km | 23 |
| 日本赤十字社長崎原爆病院 | 25km | 16 |
| 医療法人 光晴会病院 | 6.3km | 13 |

(データ元:平成27年度DPC導入の影響評価に関する調査)

敗血症(DPC6桁:180010)
 ※平成27年9月単月実績

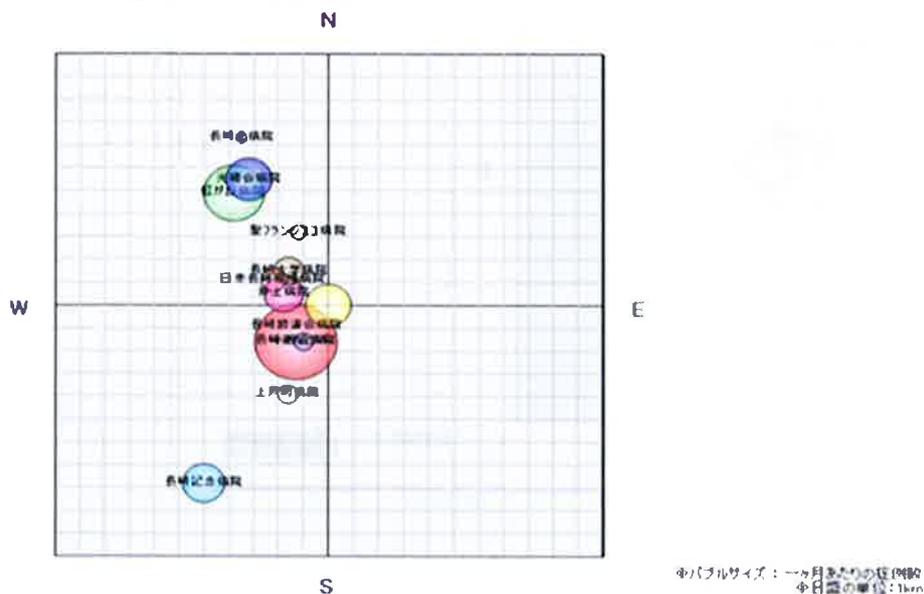


心不全(DPC6桁:050130)
 ※平成27年9月単月実績

| 施設名 | 距離 | 月平均 症例数 |
|---------------------------------------|-------|------------|
| 地方独立行政法人長崎市長崎市立病院機構長崎みなとメディカルセンター市民病院 | 2.1km | 153 |
| 医療法人厚生会 虹が丘病院 | 62km | 113 |
| 医療法人 光晴会病院 | 63km | 88 |
| 自病院 | 0.0km | 85 |
| 長崎記念病院 | 92km | 78 |
| 特別医療法人春回会井上病院 | 19km | 73 |
| 長崎大学病院 | 22km | 56 |
| 日本赤十字社長崎原爆病院 | 25km | 46 |
| 社会医療法人 健友会上戸町病院 | 42km | 38 |
| 社会福祉法人 十善会病院 | 19km | 35 |
| 聖フランシスコ病院 | 34km | 29 |
| 社会医療法人 春回会 長崎北病院 | 8.1km | 21 |
| 長崎掖済会病院 | 1.6km | 09 |

(データ元:平成27年度DPC導入の影響評価に関する調査)

心不全(DPC6桁:050130)
 ※平成27年9月単月実績

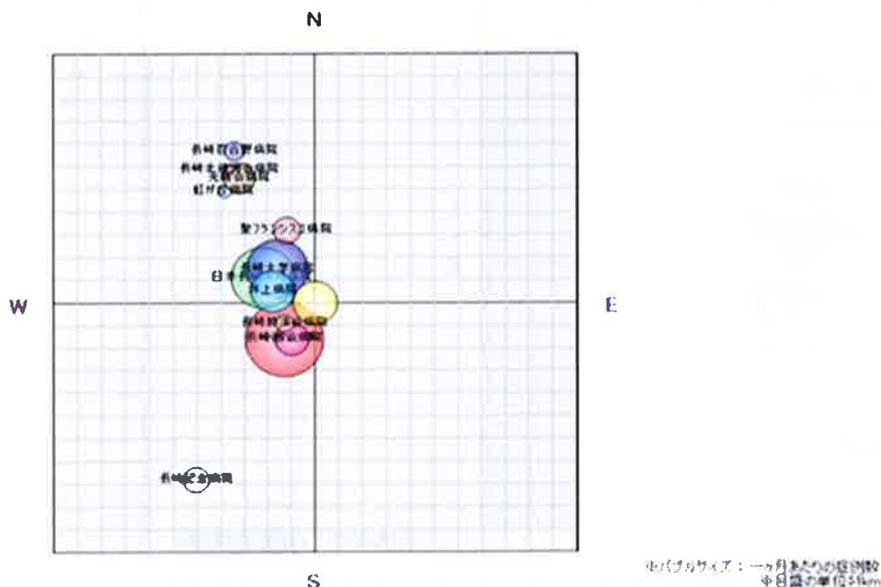


ヘルニアの記載のない腸閉塞(DPC6桁:060210)
 ※平成27年9月単月実績

| 施設名 | 距離 | 月平均 症例数 |
|------------------------------------|-------|------------|
| 地方独立行政法人長崎市立病院機構長崎みなとメディカルセンター市民病院 | 2.1km | 76 |
| 日本赤十字社長崎原爆病院 | 2.5km | 62 |
| 長崎大学病院 | 2.2km | 60 |
| 自病院 | 0.0km | 43 |
| 特別医療法人春回会井上病院 | 1.9km | 42 |
| 社会福祉法人 十善会病院 | 1.9km | 34 |
| 医療法人 光晴会病院 | 6.3km | 3.1 |
| 聖フランシスコ病院 | 3.4km | 27 |
| 長崎記念病院 | 9.2km | 26 |
| 医療法人光善会 長崎百合野病院 | 7.5km | 19 |
| 長崎掖済会病院 | 1.6km | 18 |
| 医療法人厚生会 虹が丘病院 | 6.2km | 1.3 |
| 医療法人徳洲会 長崎北徳洲会病院 | 6.9km | 1.1 |

(データ元:平成27年度DPC導入の影響評価に関する調査)

ヘルニアの記載のない腸閉塞(DPC6桁:060210)
 ※平成27年9月単月実績

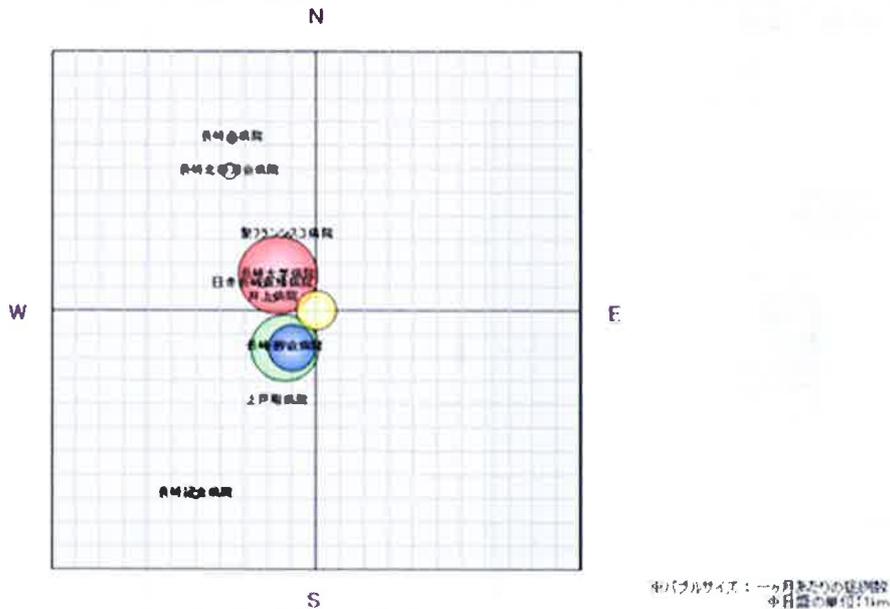


脳梗塞(DPC6桁:010060)
 ※平成27年9月単月実績

| 施設名 | 距離 | 月平均 症例数 |
|------------------------------------|-------|------------|
| 長崎大学病院 | 2.2km | 20.9 |
| 地方独立行政法人長崎市立病院機構長崎みなとメディカルセンター市民病院 | 2.1km | 18.1 |
| 社会福祉法人 十善会病院 自病院 | 1.9km | 12.6 |
| 医療法人徳洲会 長崎北徳洲会病院 | 0.0km | 10.8 |
| 社会医療法人 春回会 長崎北病院 | 8.1km | 2.7 |
| 長崎記念病院 | 9.2km | 2.1 |
| 特別医療法人春回会井上病院 | 1.9km | 1.8 |
| 日本赤十字社長崎原爆病院 | 2.5km | 1.6 |
| 社会医療法人健友会上戸町病院 | 4.2km | 1.3 |
| 聖フランシスコ病院 | 3.4km | 1.2 |

(データ元:平成27年度DPC導入の影響評価に関する調査)

脳梗塞(DPC6桁:010060)
 ※平成27年9月単月実績

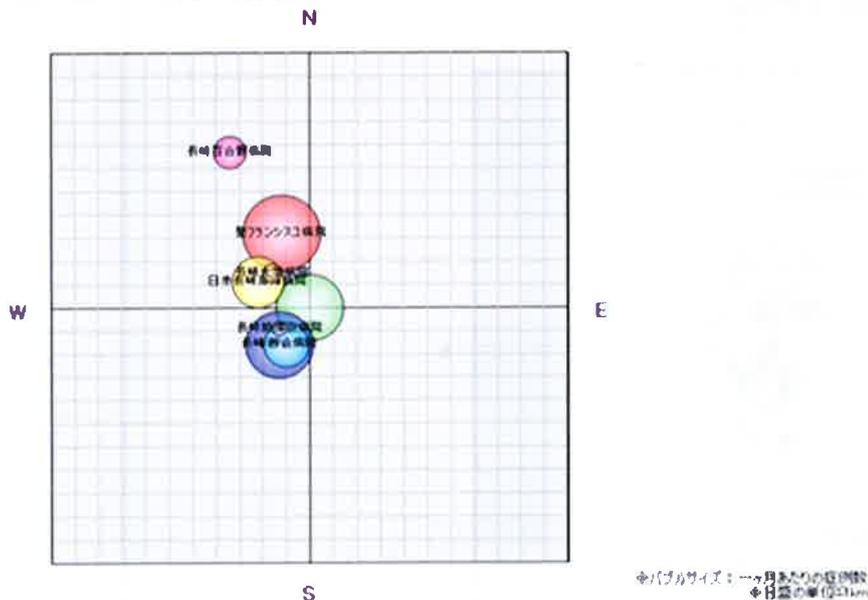


股関節大腿骨近位骨折(DPC6桁:160800)
 ※平成27年9月単月実績

| 施設名 | 手術 | 距離 | 月平均 症例数 | 平均 在院日数 |
|------------------------------------|-------------|------|------------|------------|
| 聖フランシスコ病院 | 01 | 34km | 82 | 262 |
| 自病院 | 01 | 00km | 79 | 208 |
| 地方独立行政法人長崎市立病院機構長崎みなとメディカルセンター市民病院 | 01 | 21km | 78 | 226 |
| 日本赤十字社長崎原爆病院 | 01 | 25km | 57 | 181 |
| 社会福祉法人 十善会病院 | 01 | 19km | 32 | 323 |
| 医療法人光善会 長崎百合野病院 | 01 | 75km | 30 | 174 |
| 長崎大学病院 | 01 | 22km | 21 | 112 |
| 長崎済済会病院 | 01 | 16km | 17 | 340 |
| 社会福祉法人 十善会病院 | 99 | 19km | 14 | 152 |
| 聖フランシスコ病院 | 99 | 34km | 10 | 151 |
| 社会福祉法人 十善会病院 | 97 | 19km | 08 | 240 |
| 社会福祉法人 十善会病院 | 97(輸血以外の再掲) | 19km | 08 | 240 |
| 医療法人光善会 長崎百合野病院 | 99 | 75km | 08 | 76 |

(データ元:平成27年度DPC導入の影響評価に関する調査)

股関節大腿骨近位骨折(DPC6桁:160800)
 ※平成27年9月単月実績

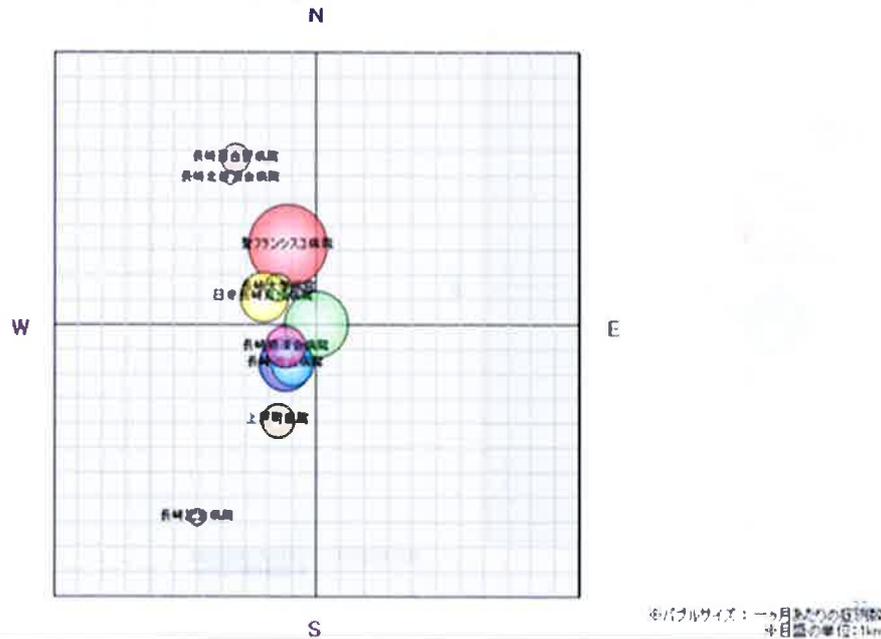


胸椎・腰椎以下骨折損傷(DPC6桁:160690)
 ※平成27年9月単月実績

| 施設名 | 手術 | 距離 | 月平均 症例数 | 平均 在院日数 |
|------------------------------------|----|------|------------|------------|
| 聖フランシスコ病院 | 99 | 34km | 59 | 187 |
| 自病院 | 99 | 00km | 48 | 160 |
| 地方独立行政法人長崎県立病院機構長崎みなとメディカルセンター市民病院 | 99 | 21km | 40 | 224 |
| 日本赤十字社長崎原患病院 | 99 | 25km | 36 | 165 |
| 社会福祉法人 十善会病院 | 99 | 19km | 33 | 245 |
| 長崎救済会病院 | 99 | 16km | 31 | 368 |
| 社会医療法人 健友会上戸町病院 | 99 | 42km | 25 | 218 |
| 医療法人 光善会 長崎百合野病院 | 99 | 75km | 22 | 142 |
| 長崎大学病院 | 01 | 22km | 17 | 178 |
| 長崎記念病院 | 99 | 92km | 13 | 237 |
| 医療法人 徳洲会 長崎北徳洲会病院 | 99 | 69km | 10 | 345 |

(データ元:平成27年度DPC導入の影響評価に関する調査)

胸椎・腰椎以下骨折損傷(DPC6桁:160690)
 ※平成27年9月単月実績



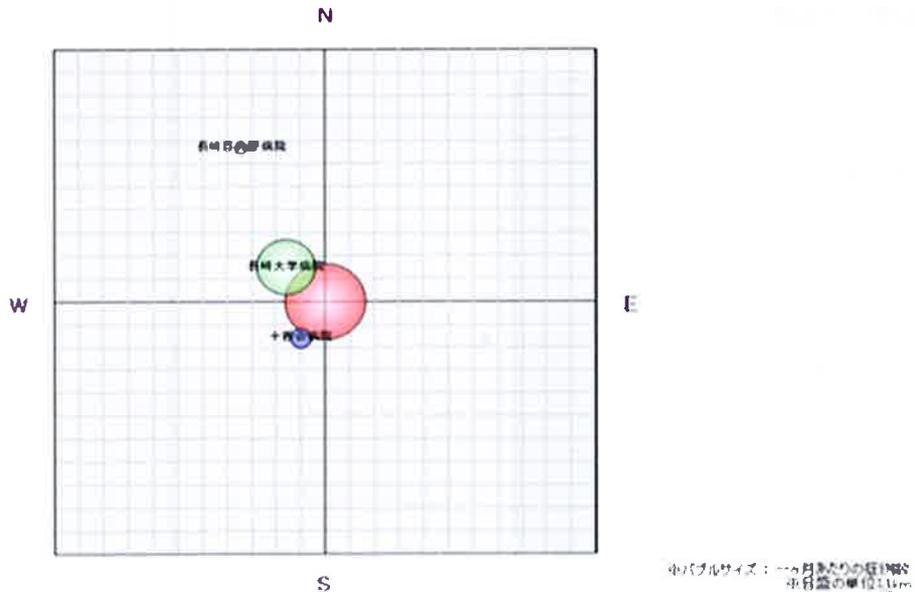
四肢筋腱損傷(DPC6桁:160610)
 ※平成27年9月単月実績

| 施設名 | 手術 | 距離 | 月平均 症例数 | 平均 在院日数 |
|--------|-------------|-------|------------|------------|
| 自病院 | 01 | 0.0km | 33 | 421 |
| 長崎大学病院 | 01 | 2.2km | 30 | 213 |
| 自病院 | 97 | 0.0km | 15 | 228 |
| 自病院 | 97(転血以外の再掲) | 0.0km | 15 | 228 |

| 施設名 | 距離 | 月平均 症例数 |
|-----------------|-------|------------|
| 自病院 | 0.0km | 49 |
| 長崎大学病院 | 2.2km | 36 |
| 社会福祉法人 十善会病院 | 1.9km | 13 |
| 医療法人光善会 長崎百合野病院 | 7.5km | 08 |

(データ元:平成27年度DPC導入の影響評価に関する調査)

四肢筋腱損傷(DPC6桁:160610)
 ※平成27年9月単月実績



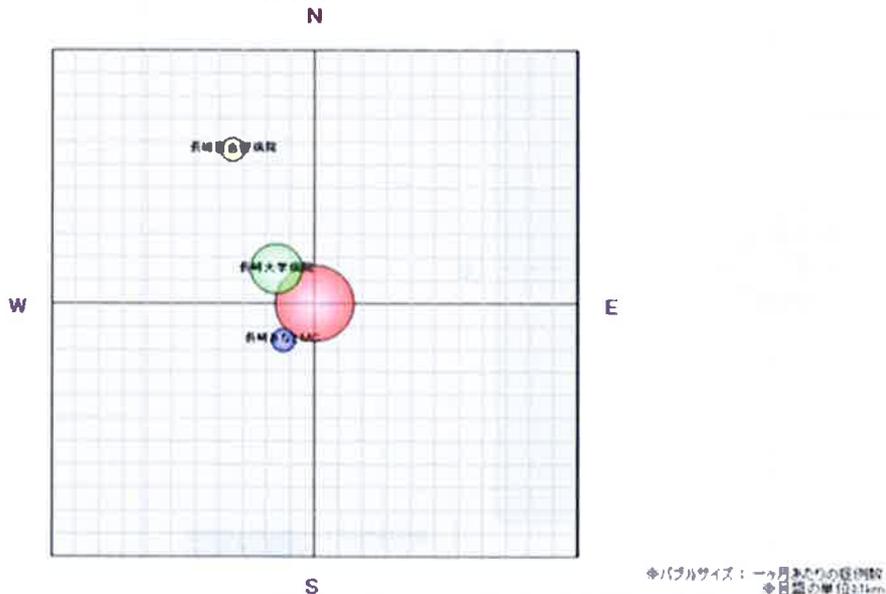
肩関節周辺の骨折脱臼(DPC6桁:160720)
 ※平成27年9月単月実績

| 施設名 | 手術 | 距離 | 月平均 症例数 | 平均 在院日数 |
|--------|----|------|------------|------------|
| 自病院 | 01 | 00km | 25 | 16.7 |
| 長崎大学病院 | 01 | 22km | 14 | 11.1 |

| 施設名 | 距離 | 月平均 症例数 |
|--|------|------------|
| 自病院 | 00km | 26 |
| 長崎大学病院 | 22km | 17 |
| 地方独立行政法人長崎市立病院機構長 崎みなとメディカルセンター市民病院 | 21km | 08 |
| 医療法人光善会 長崎百合野病院 | 75km | 08 |

(データ元:平成27年度DPC導入の影響評価に関する調査)

肩関節周辺の骨折脱臼(DPC6桁:160720)
 ※平成27年9月単月実績

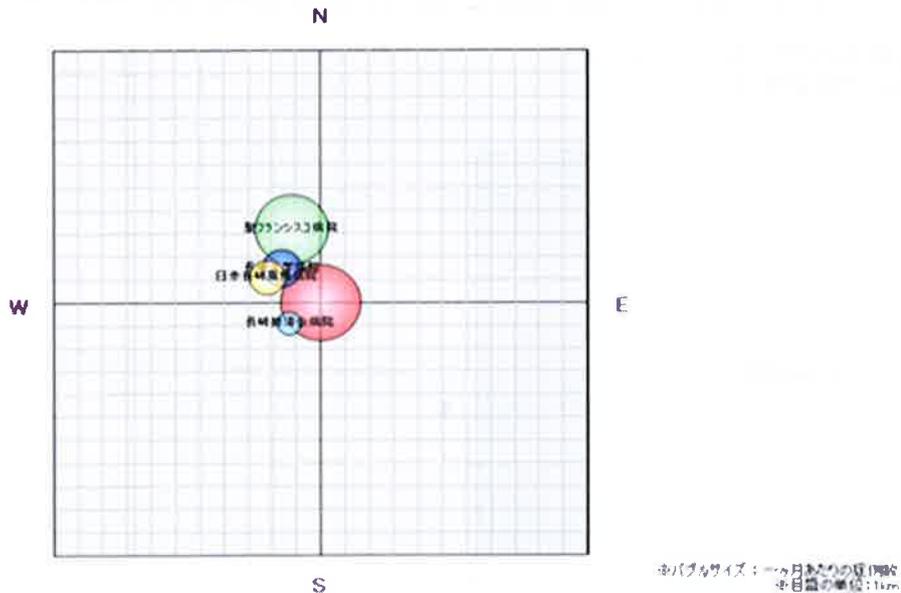


骨盤損傷(DPC6桁:160980)
 ※平成27年9月単月実績

| 施設名 | 手術 | 距離 | 月平均 症例数 | 平均 在院日数 |
|--------------|----|------|------------|------------|
| 自病院 | 99 | 00km | 25 | 14.7 |
| 聖フランシスコ病院 | 99 | 34km | 23 | 19.6 |
| 長崎大学病院 | 01 | 22km | 13 | 24.8 |
| 日本赤十字社長崎原属病院 | 99 | 25km | 12 | 19.6 |
| 長崎救済会病院 | 99 | 16km | 08 | 35.5 |

(データ元:平成27年度DPC導入の影響評価に関する調査)

骨盤損傷(DPC6桁:160980)
 ※平成27年9月単月実績

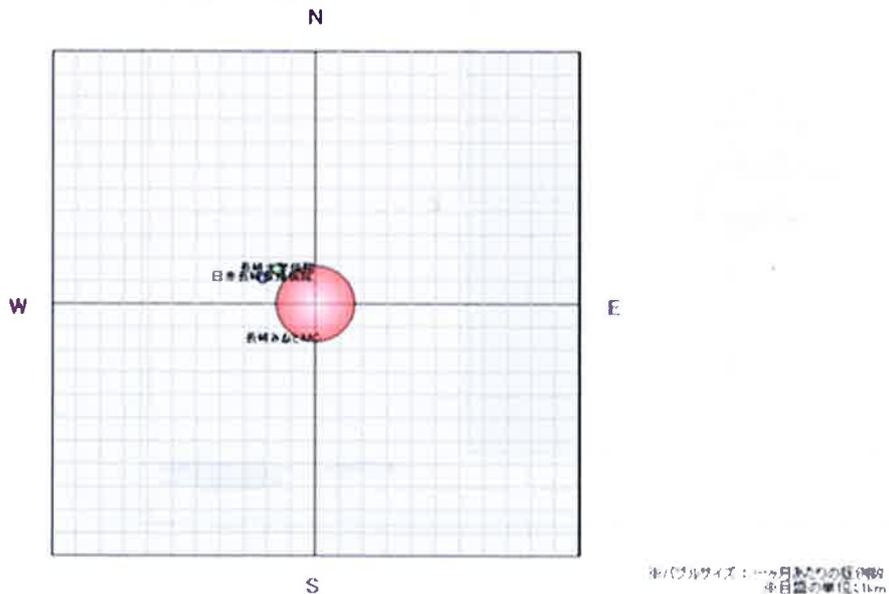


子宮の良性腫瘍(DPC6桁:120060)
 ※平成27年9月単月実績

| 施設名 | 距離 | 月平均 症例数 |
|------------------------------------|-------|------------|
| 自病院 | 0.0km | 278 |
| 長崎大学病院 | 2.2km | 42 |
| 日本赤十字社長崎原爆病院 | 2.5km | 4.0 |
| 地方独立行政法人長崎市立病院機構長崎みなとメディカルセンター市民病院 | 2.1km | 19 |

(データ元:平成27年度DPC導入の影響評価に関する調査)

子宮の良性腫瘍(DPC6桁:120060)
 ※平成27年9月単月実績

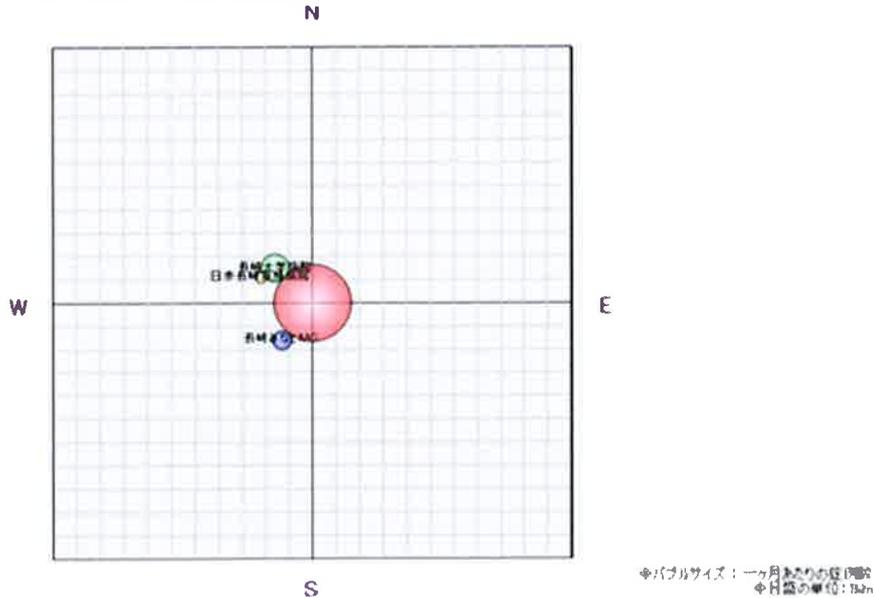


卵巣の良性腫瘍(DPC6桁:120070)
 ※平成27年9月単月実績

| 施設名 | 距離 | 月平均 症例数 |
|------------------------------------|-------|------------|
| 自病院 | 0.0km | 11.7 |
| 長崎大学病院 | 22km | 4.3 |
| 地方独立行政法人長崎市立病院機構長崎みなとメディカルセンター市民病院 | 2.1km | 2.9 |
| 日本赤十字社長崎原爆病院 | 25km | 1.8 |

(データ元:平成27年度DPC導入の影響評価に関する調査)

卵巣の良性腫瘍(DPC6桁:120070)
 ※平成27年9月単月実績



④ 自施設の課題

当院における課題（地域医療構想実現に向けての課題）は主として次に掲げるものである。

1. 区域内における急性期を中心とした病病連携の強化
 - ①役割分担（あるべき病床機能・診療科とは何か）
 - ②輪番制の見直し（再構築）
2. 地域医療支援病院としての機能充実
 - ①医師不足診療科における医師確保（総合診療科、呼吸器内科、消化器内科、外科等）
 - ②医師の高齢化対策（常勤医師の平均年齢：49.9歳※平成29年9月1日現在）
3. 在宅支援の強化
 - ①地域包括ケア病床に期待される4機能の充実（レスパイト等を含む）
 - ②在宅療養支援病院・診療所に対する後方支援（在宅療養後方支援病院の届出等）
 - ③認知症対応力の強化（認知症ケア加算1の届出等）
4. 医療機器の更新
 - ①急性期医療の提供に不可欠な医療機器の更新に伴うコスト
 - ②財源不足

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

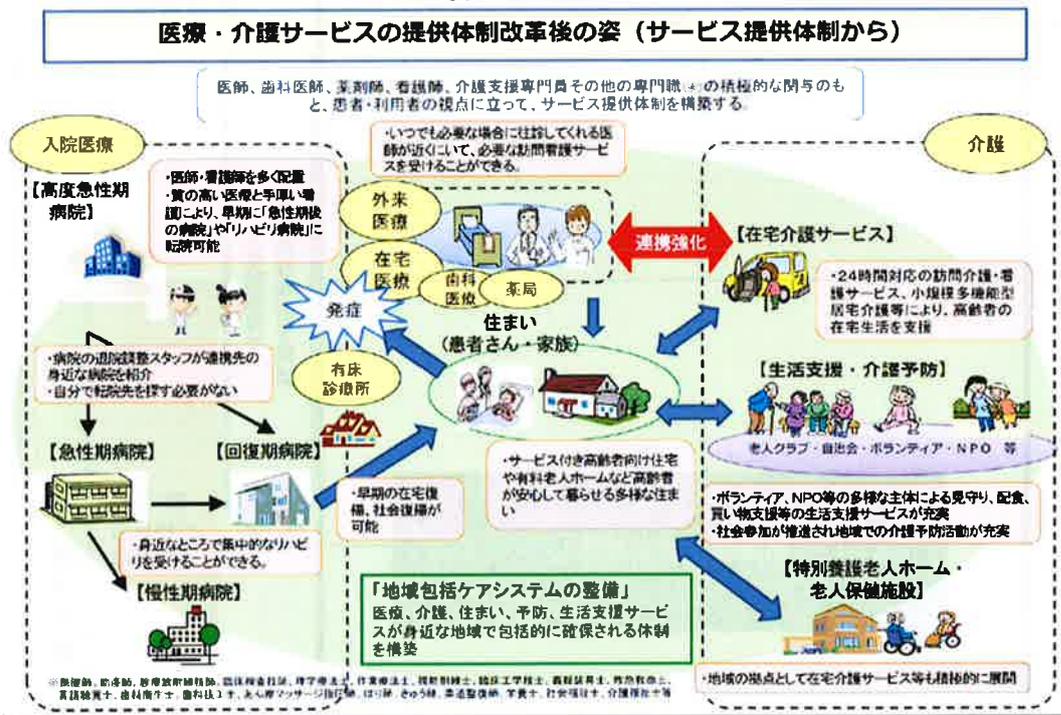
① 地域において今後担うべき役割

- 無料低額診療事業の推進により生活困窮者を積極的に支援すること。
- 充実した救急医療を24時間提供すること（輪番病院の中核的役割を担う）
- 各診療科の専門医による高度専門医療の提供を積極的に行うこと。
- 在宅療養患者の増加を踏まえ、在宅訪問医等の後方支援を積極的に行うこと。
- 地域包括ケア病棟の積極活用により地域に貢献する（在宅支援等4機能を拡充）
- 次世代の地域医療を担う研修医・修練医教育の場として貢献すること。
- 災害拠点病院としての使命を果たすこと。

＜現在～2025年に向けた当院の基本的な考え方＞

今後も当院は、地域医療支援病院として、生活困窮者等を含めたすべての人々に対する「救急医療の提供」と「高度専門医療の提供」というふたつの柱を軸にして「地域医療への貢献」と「地域包括ケアシステムの実現」を目指していく。

地域包括ケアシステム



② 今後持つべき病床機能

将来において、当区域で急性期病床が著しく不足する状況に至った場合には、平成29年4月に開設した地域包括ケア病棟（41床）を7:1病床へ転換することも選択肢のひとつであるとする。

③ その他見直すべき点

現時点において特になし。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

| | 現在 (平成28年度病床機能報告) | | 将来 (2025年度) |
|-------|----------------------|---|----------------|
| 高度急性期 | 12 | → | 12 |
| 急性期 | 193 | | 193 |
| 回復期 | 0 | | 0 |
| 慢性期 | 0 | | 0 |
| (合計) | 205 | | 205 |

<年次スケジュール>

| | 取組内容 | 到達目標 | (参考) 関連施策等 |
|-----------------|--|------|---------------------|
| 2017年度 | | | 集中的な検討を促進 2年間程度で |
| 2018年度 | | | |
| 2019～2020 年度 | <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 病棟機能の変更なし </div> | | 第7期 介護保険 事業計画 |
| 2021～2023 年度 | | | 第8期 介護保険 事業計画 |

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

| | 現在 (本プラン策定時点) | | 将来 (2025年度) |
|-------|------------------|---|----------------|
| 維持 | | → | |
| 新設 | 診療科の見直しなし | | |
| 廃止 | | | |
| 変更・統合 | | → | |

③ その他の数値目標について

医療提供に関する項目

- ・ 病床利用率：90%
- ・ 手術室稼働率：50%
- ・ 紹介率：70%
- ・ 逆紹介率：100%

経営に関する項目*

- ・ 人件費率：55%
- ・ 医業収益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合：0.5%

その他：

* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】
(自由記載)

<考察：地域医療構想実現に向けて>

当該構想は国策とは言え、地域における医療自体が個々の病院を中心とした一定のエリアで展開されていることを踏まえ、人口動態、入院受療率、患者の流入・流失あるいはアクセス環境等様々なエビデンスを基に当区域に示された機能別必要病床数を2025年までにどう実現していくかについて私達は真摯に考えなければならない。

実現に向けては、病院機能報告制度のもと行政サイドで取りまとめられた様々なデータが公開されているが、中でも当区域における病床機能別病床数は非常に興味深く読める。しかしながら、不規則に並べられた一覧を眺めているだけでは40施設以上の病院がそれぞれどう考えどう動くべきかが見えて来ないのではないか。

構想実現に向け、実効性のあるムーブメントを起こすには、いくつかの切り口により当区域で事業展開している各病院の機能をセグメント化して整理すると非常に分かりやすい姿になる。以下は、全くの私的視点において並べ替えてみたものである。

● 輪番病院、急性期系病院、地域病院の三つのセグメント（切り口は以下の通り）

< 輪番病院 >

長崎区域（長崎医療圏）における輪番病院

< 急性期系 >

下記のうち、いずれかを満たす病院

ア) 急性期病床 > その他病床

但し、地域包括ケアは急性期に含まず

イ) 救急車搬送 1,000 件以上／年間

ウ) 7 対 1 病床有（緩和ケア除く）

< 地域 >

長崎区域（医療圏）において、特に交通アクセス（手段・距離・時間等）が非常に悪いエリアで、かつ、近隣に救急搬送受入が可能な急性期病院が存在しない地域の医療を担う病院。

現在の病床機能別病床数①

| | | 高度急 | 7対1 | 10対1 | 7:1+ 10:1 | 地域包 括 | 回りハ | 療養 | その他 | 合計 |
|----|------------------|-----|-----|------|--------------|----------|-----|-----|-----|-------|
| 1 | 輪 番 病 院 | みなと | 54 | 440 | | 440 | | | 19 | 513 |
| 2 | | 原爆 | | 303 | | 303 | 39 | | 8 | 350 |
| 3 | | 済生会 | 12 | 152 | | 152 | 41 | | | 205 |
| 4 | | 聖フラ | | 154 | | 154 | 32 | | 22 | 208 |
| 5 | | 井上 | | 100 | | 100 | 12 | | | 112 |
| 6 | | 十善会 | | 134 | | 134 | 59 | | | 193 |
| 7 | | 百合野 | | 60 | | 60 | 52 | 48 | | 160 |
| 8 | | 長崎記 | | | 164 | 164 | | 48 | 92 | 304 |
| 9 | | 掖済会 | | | 99 | 99 | 43 | | | 142 |
| 10 | 急 性 期 系 | 光晴会 | 10 | 139 | | 139 | 30 | | | 179 |
| 11 | | 虹ヶ丘 | | 120 | | 120 | 30 | | | 150 |
| 12 | | 重工記 | | | 121 | 121 | 63 | | | 184 |
| 13 | | 長崎北 | | 80 | | 80 | | 80 | 40 | 200 |
| 14 | 徳洲会 | | | 51 | 51 | | 20 | | 37 | 108 |
| 15 | 地域 | 日浦病 | | 47 | 47 | 9 | | 103 | 40 | 199 |
| | | | | | 2,164 | 410 | | | | 3,207 |

現在の病床機能別病床数②

| | | 10対1 | 13対1 | 15対1 | 小計 | 地域包 括 | 回りハ | 療養 | その他 | 合計 | |
|----|--|------|------|------|-----|----------|-----|----|-----|-------|-----|
| 1 | そ の 他 の 急 性 期 病 床 を 持 つ 病 院 | 小江原 | 36 | | 36 | 10 | 44 | 59 | | 149 | |
| 2 | | 千綿 | | 56 | | 56 | | | | | 56 |
| 3 | | 和仁会 | | | 59 | 59 | | 83 | 70 | | 212 |
| 4 | | 上戸町 | 51 | | | 51 | 9 | 44 | | | 104 |
| 5 | | 大久保 | 12 | | | 12 | 20 | | 142 | | 174 |
| 6 | | リウマ | 60 | | | 60 | | | | | 60 |
| 7 | | 高原中 | 42 | | | 42 | 10 | | | | 52 |
| 8 | | あじさ | 49 | | | 49 | | | | | 49 |
| 9 | | 出島 | 23 | | | 23 | | | | 20 | 43 |
| 10 | | 琴海 | | 15 | | 15 | 45 | | | | 60 |
| 11 | | 友愛 | | | 55 | 55 | | 25 | | | 80 |
| 12 | | 腎病院 | | | 79 | 79 | | | | | 79 |
| 13 | | 女の都 | | | 45 | 45 | | | 75 | | 120 |
| | | 273 | | | 582 | 94 | | | | 1,238 | |

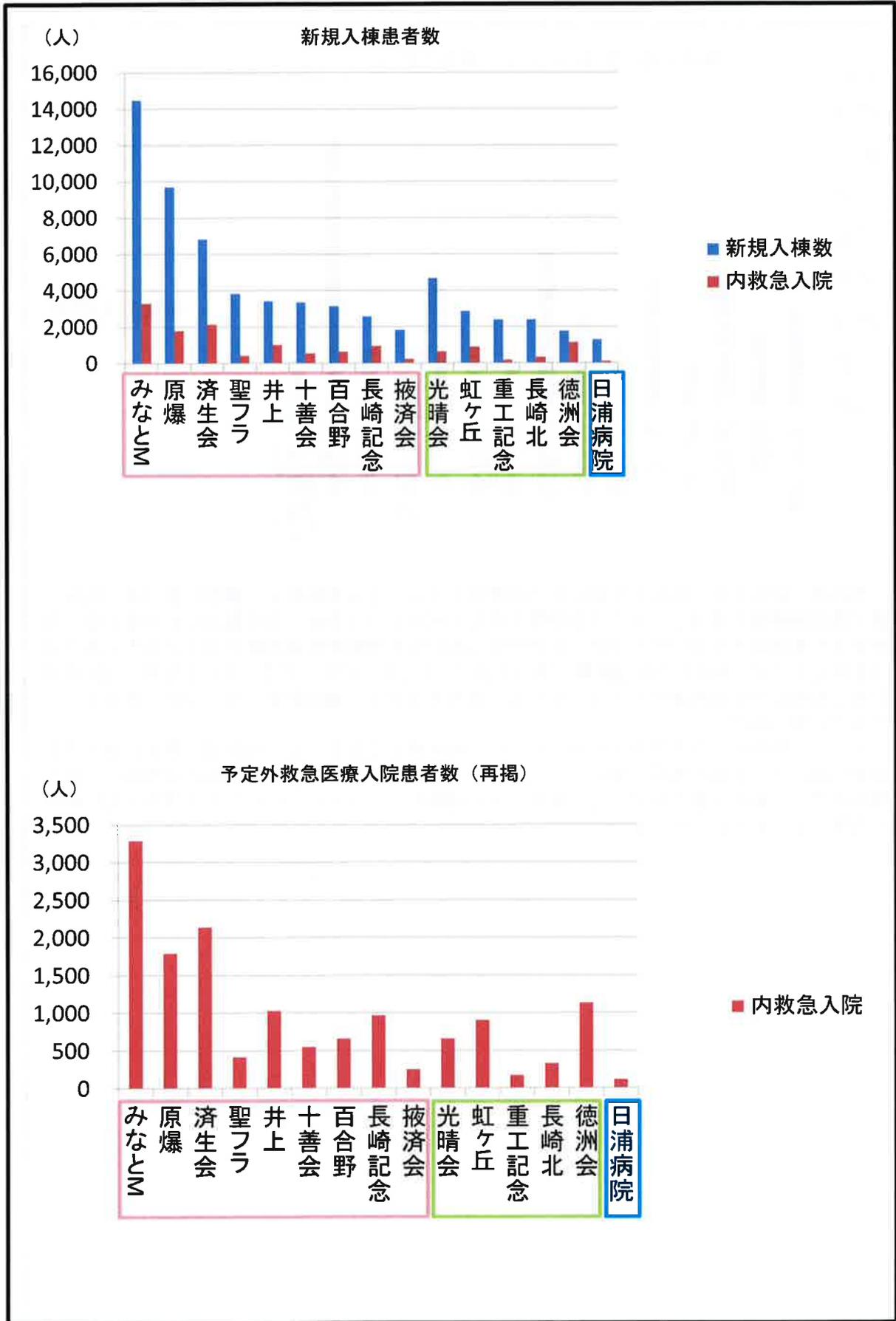
現在の病床機能別病床数③

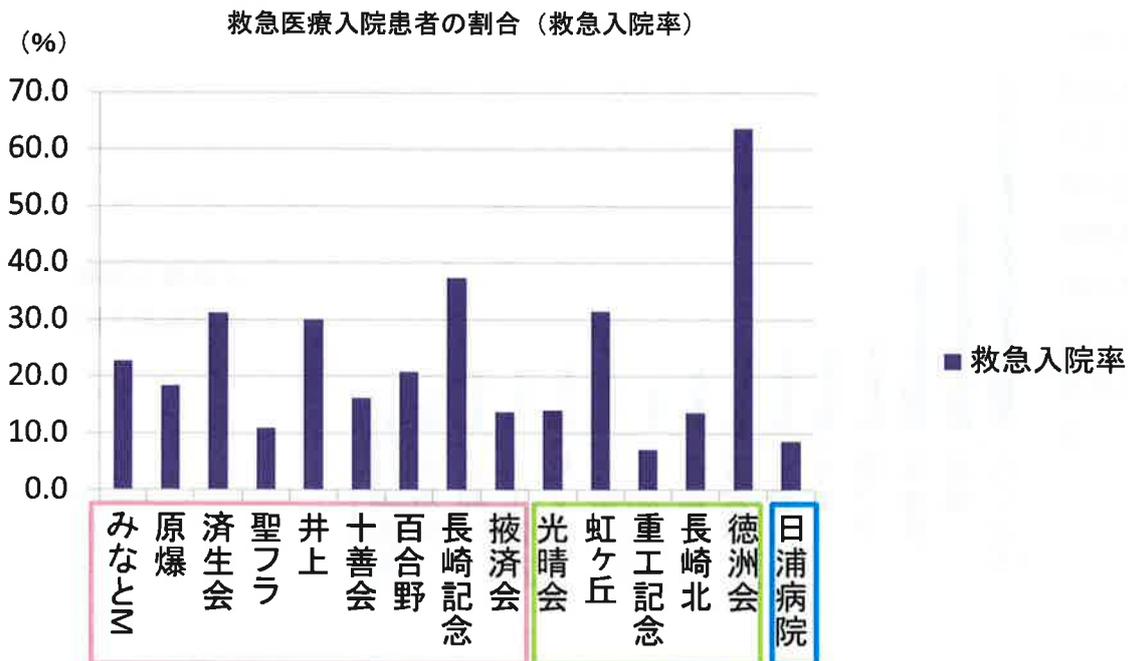
| | | 10対1 | 13対1 | 15対1 | 小計 | 地域包 括 | 回りハ | 療養 | その他 | 合計 |
|----|-----|------|------|------|-----|----------|-----|-----|-----|-------|
| 1 | 光風 | | | 46 | 46 | | | 50 | 54 | 150 |
| 2 | 昭和 | | | | 0 | | 51 | 254 | | 305 |
| 3 | 田上 | | | 94 | 94 | | | 86 | | 180 |
| 4 | 三原 | 55 | | | 55 | | 57 | 120 | | 232 |
| 5 | 三景 | | | | 0 | | | 105 | | 105 |
| 6 | みどり | | | | 0 | | | 59 | | 59 |
| 7 | 長崎リ | | | | 0 | | 143 | | | 143 |
| 8 | 国立長 | | | | 0 | 35 | | | 245 | 280 |
| 9 | 小林 | | | | 0 | | | 30 | | 30 |
| 10 | 愛宕 | | | | 0 | | | 150 | | 150 |
| 11 | 大石共 | | | | 0 | | | 35 | | 35 |
| 12 | 清水 | | | | 0 | | | 181 | | 181 |
| 13 | 長与 | | | | 0 | 30 | | 90 | | 120 |
| 14 | セント | | | | 0 | | | 110 | | 110 |
| | | | | | 195 | 65 | | | | 2,080 |

●さらに、表①の病院群における新規入棟患者数及び救急入院率は以下の通り。

新規入棟患者数・救急入院率

| | | 新規入棟数 | 内救急入院 | 救急入院率 | |
|----|------|-------|--------|-------|------|
| 1 | 輪番病院 | みなとM | 14,507 | 3,293 | 22.7 |
| 2 | | 原爆 | 9,723 | 1,791 | 18.4 |
| 3 | | 済生会 | 6,853 | 2,141 | 31.2 |
| 4 | | 聖フラ | 3,843 | 417 | 10.9 |
| 5 | | 井上 | 3,421 | 1,027 | 30.0 |
| 6 | | 十善会 | 3,381 | 548 | 16.2 |
| 7 | | 百合野 | 3,159 | 659 | 20.9 |
| 8 | | 長崎記念 | 2,585 | 968 | 37.4 |
| 9 | | 掖済会 | 1,828 | 253 | 13.8 |
| 10 | 急性期系 | 光晴会 | 4,684 | 657 | 14.0 |
| 11 | | 虹ヶ丘 | 2,871 | 904 | 31.5 |
| 12 | | 重工記念 | 2,413 | 174 | 7.2 |
| 13 | | 長崎北 | 2,385 | 327 | 13.7 |
| 14 | | 徳洲会 | 1,780 | 1,135 | 63.8 |
| 15 | 地域 | 日浦病院 | 1,317 | 113 | 8.6 |





当区域においては、特に急性期病床が過剰であるという点を踏まえ、構想に基づき、将来に渡り急性期病床を持続していくべき病院の姿とは何かという視点に立ち見渡してみると少し形が見えて来るのではないだろうか。国が将来においても所謂急性期病床であるとしている7対1病床と10対1病床の合計病床数（表①+表②）が、2,437床となり、2025年における当区域に必要な急性期病床数とほぼ一致する。偶然とは言え、構想実現に向けての大きなヒントであるに違いない。

さらに、具体的に考え行動すべきこととして付け加えるとすれば、当区域で事業展開する各病院において、病病連携を前提として、13対1及び15対1の急性期病床は回復期へ、また地域包括ケア病床は急性期型から回復期型へと段階的にシフトしていくことが構想実現に向けての第一歩であると思料する。

（表①以降のデータについては、平成29年度長崎区域地域医療構想調整会議資料1-3より参照）

※平成29年8月16日開催

(2017年8月時点)

<参考>

